

Gunosy(グノシー)(東 1:6047)

バリュエーション判断
強気 → **強気**
(2018.1.22)
目標株価
4,000 円 → **3,160 円**

電話取材:2018年4月13日

担当 : 澤田 遼太郎

【連結】 (百万円、%、円:会/会社計画、予/エース経済研究所予想、Q/四半期累計)

決算期	売上高	伸率	営業利益	伸率	経常利益	伸率	当期利益	伸率	EPS	配当
2018/5 3Q	7,878	40	1,370	26	1,370	26	881	-1	39	-
2016/5	4,599	45	562	195	566	269	605	344	28	0.0
2017/5	7,739	68	1,517	170	1,516	168	1,126	86	47	0.0
2018/5 会	10,746	39	2,206	45	2,206	45	1,475	31	65	0.0
2018/5 予	10,746	39	2,206	45	2,206	45	1,475	31	65	0.0
2019/5 予	13,990	30	2,706	23	2,760	25	1,770	20	78	0.0

※2016/5より連結決算

【セグメント情報】	18/5期 3Q	【PER】	【財務指標】	18/02末
メディア事業	100%	16/5 88	BPS	389円
		17/5 52	純資産	90億円
		18/5予 37	総資産	112億円
		19/5予 31	時価総額	562億円
			株価(4/13終値)	2,434円
			売買単位	100株
			発行株数	23.1百万株
			PBR	6.25倍

<注目ポイント>

読みたいニュースを配信するニュースアプリ「グノシー」等を展開。自社メディアへ広告を配信するGunosyAds及び、他社メディアへ広告配信を行うADNWが収益の柱。

- ① 2018年5月期第3Qは売上高7878百万円(前年同期比+40%)、営業利益1370百万円(同+26%)、経常利益1370百万円(同+26%)、当期利益881百万円(同▲1%)となった。GunosyAdsおよびADNWの拡大が寄与したが、利益率の高いGunosyAdsの構成比が低下したほか、東証一部への指定替えに係る費用などにより、営業利益以下の伸びはやや抑えられた。当期利益の減益は法人税率の影響によるもの。
- ② 会社計画に対する進捗は、売上高が73%とほぼ計画通りだが、営業利益が62%とやや遅れている。

目標株価を3160円へ引き下げ、強気は継続。取材後に見直し予定

第3Q決算の評価として、GunosyAdsの売上高が前四半期比で減収となったことが、ネガティブサプライズであったと考えている。ADNWやゲームエイトの好調が売上高の遅れを埋めているが、これらはGunosyAdsに比べて収益性が低いため、営業利益の進捗遅れに繋がった。

GunosyAdsが減収となった要因について、会社側はGunosyアプリのDL数が3000万DLに近づき、成長限界が見えてきた可能性があるとして回答している。エース経済研究所では、このような判断はまだ早計だと捉えているが、GunosyAdsの成長継続を前提として業績予想を行っていたため、インパクトが大きいと判断し、ひとまず今期予想を会社計画並みに引き下げ、これに伴い目標株価も4000円→3160円へ引き下げる。

なお、近日中に同社への取材を予定している。電話取材では第4Qの取り組みについて十分な回答が得られなかったため、取材後に改めて業績及び目標株価、レーティングの見直しを行う。

《アナリストによる宣言》

私、澤田遼太郎は本調査資料に表明された見解が、対象企業と証券に対する私個人の見解を正確に反映していることをここに証明します。
また、私は本調査資料で特定の見解を表明することに対する直接的または間接的な報酬は、過去、現在共に得ておらず、将来においても得ないことを証明します。

《利益相反に関する開示事項》

- エース証券株式会社(以下、エース証券)及びグループ会社は、本資料に掲載された企業の売買あるいは当企業に対し、引受、その他のサービスを提供する場合があります。
- 株式会社エース経済研究所(以下、ARI)は、エース証券との契約に基づき、エース証券への資料提供を一定期間、継続的に行うことに対し包括的な対価をエース証券から得ておりますが、本資料に対して個別に対価を得ているものではありません。
また、銘柄選定も ARI 独自の判断で行っており、エース証券を含む第三者からの銘柄の指定は一切受けておりません。
- 執筆担当者、ARI と本資料の対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等: エース証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第 6 号
加入協会: 日本証券業協会
指定紛争解決機関: 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

■手数料等及びリスクについて

●株式の売買には、約定代金に対して最大 1.242%の手数料(約定代金が 100 万円以下の場合、最低手数料 2,700 円)(税込み)が必要となります。●株式は、株価の変動により、損失を生じるおそれがあります。●上場有価証券等書面の内容をよくお読みください。●外国株式は、為替相場の変動等により、損失を生じるおそれがあります。●非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買い付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。●債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。●外国債券は、為替相場の変動等により損失を生じるおそれがあります。●商品毎(投信・外債含む)に手数料等及びリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

エース証券及び ARI 免責事項等

- 当資料により株式・債券・その他金融商品(投信・外債含む)等の勧誘を行うことがあります。本資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。また、株式・債券等の有価証券の投資には、「手数料等及びリスクについて」に記載のとおり、損失を生じるおそれがあります。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
- 本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて ARI が作成し、エース証券(以下、当社)がお客様にご提供いたしますが、当社及び ARI は、ARI が基にした情報及びそれに基づく要約または見解の正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更することがあります。
- 本資料を利用した結果、お客様に何らかの損害が発生したとしても、当社及び ARI は何らの責任を負うものではありません。

※(著作権等)・・・本資料に関する一切の知的財産権は、原則として ARI に帰属します。
電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、本資料の無断転用、複製等を行わないようお願い致します。